がん患者サロン
「ひだまり」について

当院では、平成27年5月より、がん患者サロン「ひだまり」を開催しています。

がん患者サロンとは、がん患者さんおよびその家族などが、がんのことを含めて気軽に語り合う交流の場です。身体的・精神的な不安や仕事・経済面における悩みを語り合うことにより、がん患者さんおよびその家族の不安を和らげ、がんに関する情報交換をすることができます。

サロンでは、「ピアサポーター」が出席します。「ピアサポーター」とは、がん体験者であり、ピアサポーター養成研修を修了し、自らの治療体験を基にがん患者さんおよび、家族の悩みや不安に寄り添い、支える人達です。ピアサポーターの「ピア」とは、「仲間」「同じ立場」という意味です。医療者に伝えにくいことも、「同じ立場」（がん経験者）のピアサポーターには話しやすい、身近な心強い存在となっています。

また、がん患者さんからの質問を医療者が答える場も設けています。具体例では、「しびれがなかなかとれない」「むくみを軽減できる体操はないか？」という質問に対し、運動方法や日ごろの注意点についてのアドバイスをします。参加者からは、「家でも運動を取りいれたい」「リハビリに関する質問がたくさんでき良かった」などの感想が寄せられています。日常、医療者と長くお話しをする機会がないので、たいへん良いと好評を博しています。

サロンでは、無理に話したり、笑う必要は一切ありません。がん患者さんおよびその家族が自分の体験を語り、聴いてもらえる場です。

がんの病気で悩んでいる人は、気軽にきてください。

◎がん患者サロン「ひだまり」

▽とき　毎月第2月曜日　午後2時～4時　※祝日にあたる月は開催しません

▽ところ　市立病院　1階患者図書室

▽対象　がん患者さんとその家族（当院に通院していない人も参加できます）

▽問い合わせ先　市立病院　地域医療連携センター医療福祉相談窓口　☎53・2901（代表）

※費用無料、事前申込不要

地域医療連携センター　山本　真由